



令和7年度2月号 令和8年2月2日

上原だより

渋谷区立上原小学校
校長 佐伯 孝司

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1310240>

地域・家庭・学校 ～ともに学び ともに生きる～

副校長 西村 綾乃



寒さが一段と厳しくなる2月となりましたが、子供たちは日々の学習や生活に前向きに取り組み、学校には元気な声があふれています。そして今年度もあと2か月となり、4月の進級に向け総まとめをしています。

上原小学校は、様々な他者との関わりにより学ぶことを大切にしています。学校経営方針の中にも、「地域や保護者の方々と共に児童の成長と幸せを願う学校」とあります。子供たちは、地域の方々とのかかわりを通して、多くの学びを得ています。登下校を見守ってくださる方々、子供たちの学びを支えてくださる地域の方々…。その一つ一つの温かな関わりが、子供たちの「誰かに支えられている」という実感につながっています。

先日の土曜日には、PTA・地域の方が「餅つきの会」を開催してくださいました。子供たちは行列をつくって餅つき体験を楽しんでいました。多くの人の協力により「一人ではできない体験」を味わうと同時に、「知っている人に教えてもらうありがたさ」を感じる貴重な時間となりました。地域の方も子供たちに貴重な体験をさせてあげられてよかったと“本物の学び”で子供たちの成長を促してくださっています。



先日、地域の皆様をお迎えし、子供たちが昔遊びを体験する交流活動を行いました。お手玉、けん玉、こま回し、あやとりなど、どれも今では日常生活では触れる機会が少なくなった遊びばかりですが、地域の方々の丁寧な手ほどきを受け、子供たちは夢中になって挑戦していました。

初めて触れる道具に戸惑いながらも、うまくできたときには地域の方と笑顔を交わす姿が多く見られました。遊びのコツや思い出を話してくださる様子に、子供たちは興味津々遊びを通して、世代を超えた温かいコミュニケーションが自然と生まれていました。また、地域の皆様から、「できるようになるまで頑張る大切さ」や「遊びの中で工夫を楽しむこと」など、このような活動を



通して視点を教えていただきました。子供たちは、知識だけではなく、人との関わりの中で育まれる豊かな学びを得ることができました。

このような活動を通して、地域の方々に支えられている学校の姿を改めて実感するとともに、子供たちも「地域の一員として大切にされている」という安心感を味わうことができたことと思います。これからも、地域とのつながりを大切にしながら、子供たちが多くの“本物の学び”を経験できる機会をつくっていきたいと思います。そして子供たちには、支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、地域の一員として成長していったほしいと願っています。

年度末まで残りわずかとなりましたが、一日一日を大切に、地域とともに歩む教育を進めてまいります。引き続き、温かなご支援を賜りますようお願い申し上げます。